

# 学校教育自己診断アンケート 2021 (R3) 総括

2022 0202 運営委・0204 職会 佐藤 弘康

## I 今年のポイント

府教委作成の「ひな型」をアンケートフォームの原型にしたため、アンケートが4件法から5件法となっている。※「E.判断できない・わからない」を追加。

## II 自己診断アンケートを巡る情勢 ㊦

- ① 条例による義務化。
- ② 結果から課題の克服策を打ち、結果を再びアンケートで問うことの義務化。
- ③ 学校ホームページで公開することの義務化。

## III 回収数 **web 実施が定着しつつあるが保護者の提出率は昨年より大きく減少。**

昨年同様メルマガやホームページで URL を配信したが、回収率が70%を超えた昨年より減少。

		2021 年度		2020 年度		2019 年度		2018 年度		2017 年度	
生徒	提出数	745		832		805		771		763	
	在籍数	772		808		817		833		835	
	提出率	96.5%	-2.0	102.9%	*	98.5%	+5.9	92.6%	+1.2	91.4%	-4.9
保護者	提出数	382		575		245		320		342	
	在籍数	772		808		817		833		835	
	提出率	49.4%	-21.7	71.1%	+41.2	29.9%	-8.1	38.0%	-3	41.0%	+11.8
教	提出数	42		52		58		53		58	

## IV 全体の特徴 **生徒・保護者の評価は引き続き上昇傾向。教員の自己評価はさらに改善。**

大阪府の基準でプラス評価の比率を表にすると以下の通り。府教委基準の評価  $P=(A+B)*100/(A+B+C+D)$  単位%

府教委 P	2021 年度		2020 年度		2019 年度		2018 年度		2017 年度	
	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比	平均	前年比
生徒	78.1	+4.3	73.8	+3.2	70.6	+2.4	68.2	-3.6	71.8	+1.8
保護者	80.7	+3.9	76.8	-2.2	79.0	+1.2	77.8	-2.8	80.6	+0.6
教員	73.1	+8.9	64.2	+15.6	48.6	-7.1	55.7	-5.2	60.9	-5.1

**生徒の肯定的評価が大きく上昇。**今回からアンケートが5件法となったが、「E.判断できない・わからない」は府教委の指示によりマイナス評価に含めていない。教員のプラス評価も高くなっている。

### 保護者のプラス評価が高い項目

21 学校では子どもに関する個人情報を守られている。97P 26 懇談週間は生徒・保護者・教員の意思疎通のために活用されている。90P 22 学校は、教育情報について、提供の努力をしている。90P 16 学校は子どもに生命を大切にする心や社会のルールを守る態度を養おうとしている。90P 7 学校は保護者の相談に適切に応じてくれる。90P 9 学校はいじめや暴力の無い学校づくりに取り組んでいる。90P など

## V 個別的内容

(1) 「分かる授業」をめざした改善努力のプラス評価がさらに上昇。ICT機器やアプリケーションを活用した授業改善を今後は教科横断的に取り組み、次年度も授業充実と改善を最優先課題として取り組んでいく。

(生徒)プラス評価の割合(%)	2021	2020
32.ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータなどを使う機会がよくある。	88	80
33.他の先生が授業を見学に来ることがある。	83	77
7.教え方に工夫をしている先生が多い。	84	75
4.授業はわかりやすい。	76	69
8.授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。	73	70
6.授業で自分の考えをまとめたり、発表する機会がある。	66	62
40.授業や体験活動を通して、自信がついた *2020年度からの追加項目	64	57
39.家庭学習が習慣となった	42	46
5.授業では、実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がよくある。	27	31
(保護者) 4.子どもは授業がわかりやすいと言っている。	61	53

(2) 「安心して学べる学校環境づくり」の一定の成果が出る。

(生徒)プラス評価の割合(%)	2021	2020
34.先生は生徒のプライバシーや他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。	86	81
12.先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれると思う。	83	76
3.先生は生徒の意見を聞いてくれる。	83	75
1.学校に行くのが楽しい。	80	78
11.悩みや相談に親身になって応じてくれる先生が多い。	80	70
14.学校生活についての先生の指導には納得できる。	70	61
13.担任の先生以外にも保健室や相談室等で、気軽に相談することができる先生がいる。	62	59
(保護者) 1.子どもは学校に行くのを楽しみにしている。	74	78

生徒との信頼感を示す項目の肯定的評価は上昇傾向にある。ただ、コロナ禍による影響か、保護者の「1.子どもは学校に行くのを楽しみにしている」の数値は-4Pとなった。挨拶や声かけなど、日ごろのコミュニケーションはもちろん、学校経営計画にも示されているように教育相談体制の強化とカウンセリングの手法を用いた対話主体の生徒支援を継続していく必要がある。

## VI 今後の課題

(1)次年度も5件法でアンケートを実施する予定である。今回は数値に含めていないが、「E.判断できない。わからない」が多い項目については、対策を考える必要があるのではないか。

(2) 教育のICT化を推進して学校全体の改善をはかる

授業改善はもとより、業務改善にもICT機器等を積極活用していく。また、「分掌間連携」「教科横断」「外部資源の活用と外部機関との連携」を強化しながら、生徒のもつ力を引き出し、伸ばしていく指導を全教職員で心がけていく。